


UDC 621.646.2:621.643.3:669.35'6

F 7334

JIS

船用青銅ホース弁

 JIS F 7334-1996

(2002 確認)

平成 8 年 11 月 8 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

主 務 大 臣：運輸大臣 制定：昭和30. 3.18 改正：平成8.11.8

官 報 公 示：平成8.11.21

原案作成協力者：財団法人 日本船舶標準協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 船舶部会（部会長 齋藤 隆一郎）

この規格についての意見又は質問は、運輸省海上技術安全局技術課（〒100 東京都千代田区霞が関2丁目1-3）又は工業技術院標準部機械規格課（〒100 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。



船用青銅ホース弁

F 7334-1996

Shipbuilding—Bronze hose valves

1. 適用範囲 この規格は、船用青銅ホース弁(以下、ホース弁という。)について規定する。

備考 この規格の引用規格を、次に示す。

- JIS B 0205メートル並目ねじ
- JIS B 0207メートル細目ねじ
- JIS B 0222 29度台形ねじ
- JIS B 2240 銅合金製管フランジ通則
- JIS F 7102 船舶機関部管系用ガスケット及びパッキン使用基準
- JIS F 7335 船用ホース金物
- JIS F 7400 船用弁及びコックの検査通則
- JIS G 5501 ねずみ鋳鉄品
- JIS H 3100 銅及び銅合金の板及び条
- JIS H 3250 銅及び銅合金棒
- JIS H 3260 銅及び銅合金線
- JIS H 5111 青銅鋳物

2. 流体の状態と最高使用圧力との関係 ホース弁に対する流体の状態と最高使用圧力との関係は、表1のとおりとする。

表1

流体の状態	最高使用圧力 MPa					
	呼び圧力 5 K			呼び圧力 10 K		
	呼び径			呼び径		
	15	25	40, 50	15	25	40~65
205 °C以下の蒸気	0.5	—	—	1.0	—	—
空気		0.5			1.0	
脈動水			0.5			1.0
120 °C以下の静流水	0.7			1.4		

3. 種類 ホース弁の種類は、表2のとおりとする。

表2

種類			呼び方	略号	用途		
呼び圧力 K	呼び径	形状					
5	15	玉形状	船用青銅 5 K-15ホース玉形弁	FHG515	海水吸込口, ボイラ及び 機器掃除用並びにソーダ 加熱用蒸気		
		アングル弁	船用青銅 5 K-15ホースアングル弁	FHL515			
	25	玉形弁	船用青銅 5 K-25ホース玉形弁	FHG525	エアモータ用		
		アングル弁	船用青銅 5 K-25ホースアングル弁	FHL525			
	40	玉形弁	船用青銅 5 K-40ホース玉形弁	FHG540	消防, 甲板洗浄, 水移送, ボイラ水落とし用など		
		アングル弁	船用青銅 5 K-40ホースアングル弁	FHL540			
50	玉形弁	船用青銅 5 K-50ホース玉形弁	FHG550				
	アングル弁	船用青銅 5 K-50ホースアングル弁	FHL550				
10	15	玉形弁	船用青銅10 K-15ホース玉形弁	FHG1015		海水吸込口, ボイラ及び 機器掃除用並びにソーダ 加熱用蒸気	
		アングル弁	船用青銅10 K-15ホースアングル弁	FHL1015			
	25	玉形弁	船用青銅10 K-25ホース玉形弁	FHG1025	エアモータ用		
		アングル弁	船用青銅10 K-25ホースアングル弁	FHL1025			
	40	玉形弁	船用青銅10 K-40ホース玉形弁	FHG1040	消防, 甲板洗浄, 水移送, ボイラ水落とし用など		
		アングル弁	船用青銅10 K-40ホースアングル弁	FHL1040			
	50	玉形弁	船用青銅10 K-50ホース玉形弁	FHG1050			
		アングル弁	船用青銅10 K-50ホースアングル弁	FHL1050			
	65	玉形弁	船用青銅10 K-65ホース玉形弁	FHG1065		消防, 甲板洗浄用など	
		アングル弁	船用青銅10 K-65ホースアングル弁	FHL1065			
	10	15	ねじ 込形	玉形弁	船用青銅10 K-15ねじ込ホース玉形弁	FHGS1015	ボイラ及び機器掃除用, ソーダ加熱用蒸気など
			アングル弁	船用青銅10 K-15ねじ込ホースアングル弁	FHLS1015		

4. 構造, 形状及び寸法 ホース弁の構造, 形状及び寸法は, 付図1~6のとおりとし, 弁箱厚さ a の許容差は, $^{+15}_{-10}$ %とする。ただし, 許容差の計算値が0.5 mm未満の場合は, 許容差は0.5 mmとする。

5. 材料 ホース弁の材料は, 次のとおりとする。

- (1) 弁箱, ふた, 弁体及び弁棒は, 付図1~6のとおりとする。
- (2) その他の材料は, 付図1~6による。

6. 検査 ホース弁はJIS F 7400の規定によって, 次の検査を行う。

- (1) 材料検査
- (2) 外観検査
- (3) 寸法検査
- (4) 組立検査

(5) 水圧検査 表3の試験圧力で行う。

表3

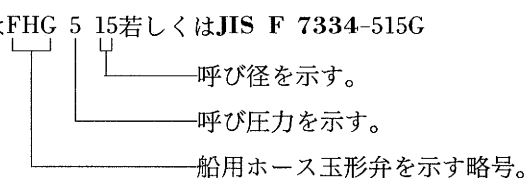
呼び圧力	試験圧力 MPa		
	弁座水漏れ検査	弁箱水圧検査	元継手水圧検査*
5 K	0.77	1.05	0.7
10 K	1.54	2.1	1.4

注* 元継手を弁箱に取り付けた状態で、弁箱の水圧試験圧力で同時に行ってもよい。

7. 製品の呼び方 ホース弁の呼び方は、規格の名称、呼び圧力及び呼び径又はその略号による。ただし、規格の名称の代わりに規格番号を用いてもよい。

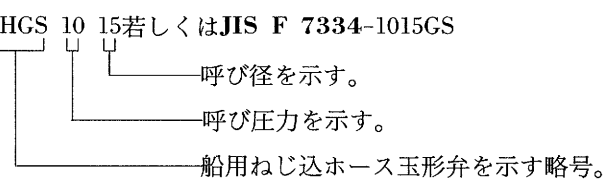
例1 呼び圧力5 K, 呼び径15の玉形弁

船用青銅5 K-15 ホース玉形弁又はFHG 5 15若しくはJIS F 7334-515G



例2 呼び圧力10 K, 呼び径15のねじ込玉形弁

船用青銅10 K-15ねじ込形ホース玉形弁又はFHGS 10 15若しくはJIS F 7334-1015GS



8. 表示 弁箱の表面に、次の事項を表示する。

(1) 呼び圧力及び呼び径

例 5 K-15

(2) 流れ方向の矢印

(3) 製造業者名又はその略号

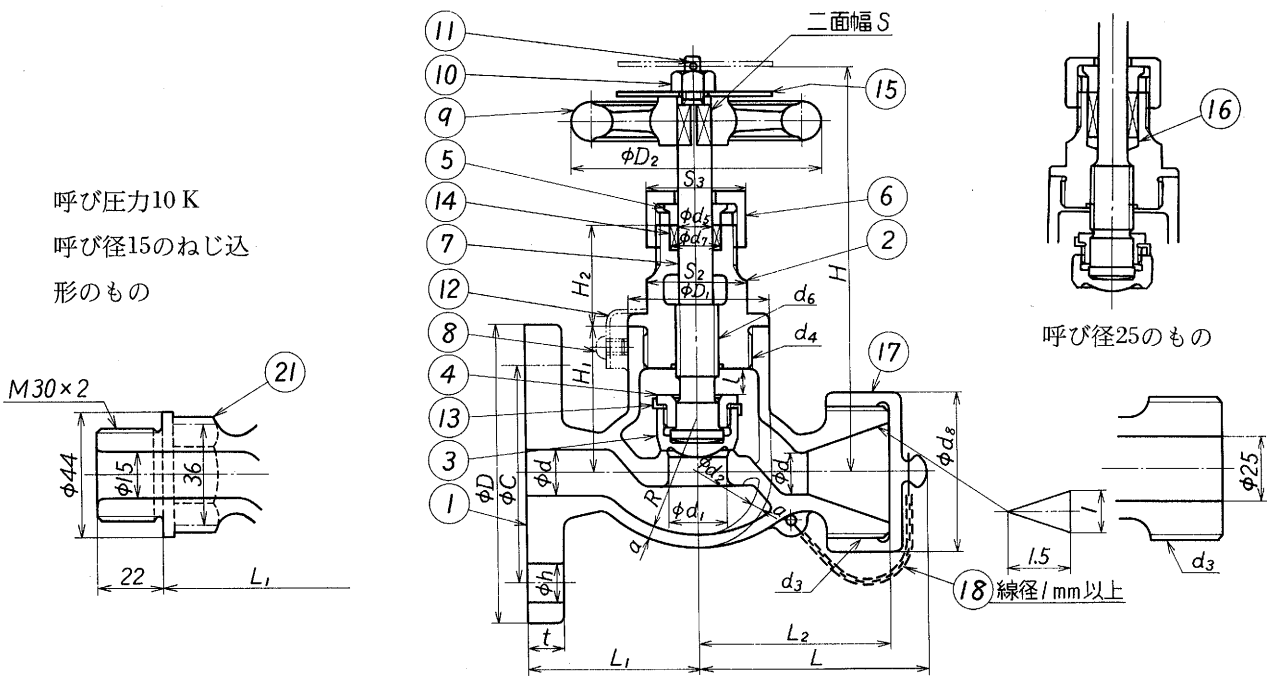
(4) 製造年月

付図1

単位 mm

呼び径15及び25の玉形弁のもの

ふたに別体のパッキン受輪を入れるもの



呼び圧力10 K
呼び径15のねじ込
形のもの

入口フランジのボルト穴は、弁箱の中心線振分けとする。

呼び径	呼び圧力	フランジ								全開高さ(約)	リフト	ハンドル車	弁箱						ふた				パッキン箱	六角二面幅	参考計算質量 (kg)						
		ボルト穴		ボルトのねじの呼び	ねじの呼び	ねじの呼び	ねじの呼び	ねじの呼び	ねじの呼び				ねじの呼び	ねじの呼び	ねじの呼び	ねじの呼び	ねじの呼び	ねじの呼び													
		中心円の径C	数																ねじの呼び	t	H	l				D ₂	d ₂	d ₃	a	R	H ₁
15	5	15	20	73	80	60	4	12	M10	9	130	5	80	40	M42×2	3	40	47	50	60	M36×2	52	45	33	10	TW14	8	17	32	32	2.51
	10	15	20	73	95	70	4	15	M12	12	130	5	80	40	M42×2	4	40	47	55	60	M36×2	52	45	33	10	TW14	8	17	32	32	2.76 (2.26)
25	5	25	30	78	95	75	4	12	M10	10	160	8	125	55	M42×2	4	55	59	60	65	M42×2	52	52	43	13	TW18	10	21	36	36	3.55
	10	25	30	83	125	90	4	19	M16	14	160	8	125	55	M42×2	4	55	59	65	70	M42×2	52	52	43	13	TW18	10	21	36	36	4.15

備考1. フランジは、JIS B 2240の規定による。

2. d₆部のねじはJIS B 0222, d₃, d₄及びねじ込みのもののねじ込部のねじはJIS B 0207の規定による。

3. 文字板は、注文者が要否を指定する。

4. 計算質量の括弧内は、ねじ込形のものを示す。

付図1 (続き)

部品番号	部品名称	材料
1	弁箱	JIS H 5111のBC6
2	ふた	JIS H 5111のBC6又は JIS H 3250のC3771BD若しくはC3771BE
3	弁体	
4	弁押さえ	
5	パッキン押さえ	JIS H 3250のC3771BD若しくはC3604BD
6	パッキン押さえナット	
7	弁棒	JIS H 3250のC3771BD又はC3771BE
8	十字穴付きなべ小ねじ	JIS H 3260のC2700W
9	ハンドル車	JIS G 5501のFC200
10	六角ナット	JIS H 3250のC3604BD
11	割りピン	JIS H 3260のC2600W
12	ふた回り止め	JIS H 3100のC2600P
13	弁付き回り止め	
14	パッキン	JIS F 7102の規定による。
15	文字板	JIS H 3100のC2801P
16	パッキン受輪	JIS H 3250のC3771BD又はC3771BE
17	キャップ	JIS F 7335の規定による。
18	鎖	
21	弁箱	JIS H 5111のBC6

備考 部品名称で太字のものの材料は、5.(1)に規定する材料を示す。

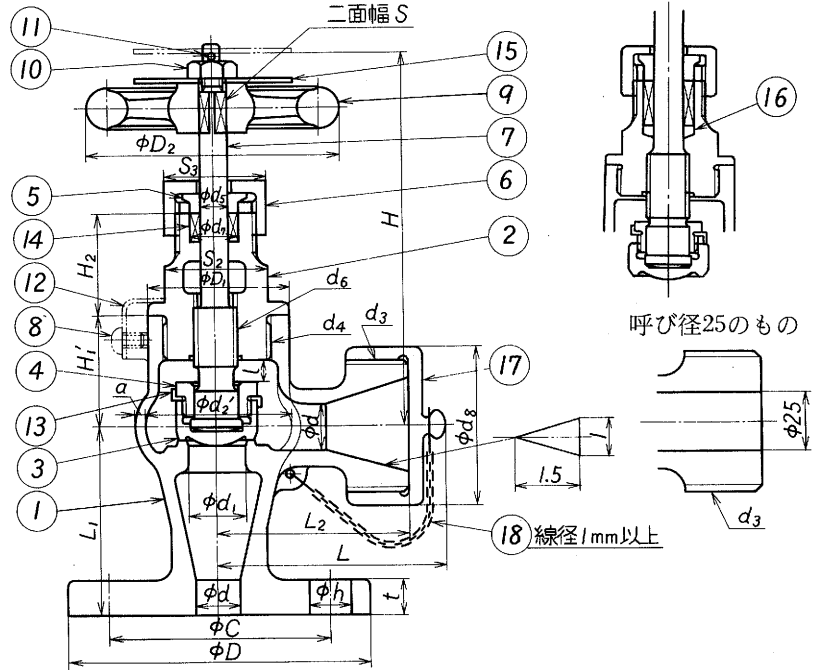
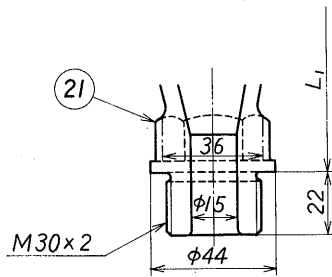
付図2

単位 mm

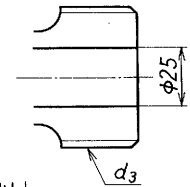
呼び径15及び25のアングル弁のもの

ふたに別体のパッキン受輪を入れるもの

呼び圧力10 K
呼び径15のねじ込
形のもの



呼び径25のもの



入口フランジのボルト穴は、弁箱の中心線振分けとする。

呼び径	呼び圧力	フランジ										弁箱								ふた			弁体		パッキン箱	六角二面幅		参考 計算質量 (kg)		
		D	ボルト穴		t	H	l	D ₂	d ₂ '	d ₃	ねじの呼び				d ₈	D ₁	H ₂	d ₅	d ₆	S	d ₇	S ₂	S ₃							
			中心円の径C	数							ボルトのねじの呼び	a	H ₁ '	L ₁										L ₂		d ₄				
15	5	15	20	68	80	60	4	12	M10	9	120	5	80	44	M42×2	3	37	55	55	M36×2	52	45	33	10	TW14	8	17	32	32	2.41
	10	15	20	73	95	70	4	15	M12	12	120	5	80	44	M42×2	4	37	70	60	M36×2	52	45	33	10	TW14	8	17	32	32	2.72 (2.22)
25	5	25	30	78	95	75	4	12	M10	10	145	8	125	55	M42×2	4	44	65	65	M42×2	52	52	43	13	TW18	10	21	36	36	3.44
	10	25	30	83	125	90	4	19	M16	14	145	8	125	55	M42×2	4	44	85	70	M42×2	52	52	43	13	TW18	10	21	36	36	4.04

備考1. フランジは、JIS B 2240の規定による。

- d₆部のねじはJIS B 0222, d₃, d₄及びねじ込みのもののねじ込部のねじはJIS B 0207の規定による。
- 文字板は、注文者が要否を指定する。
- 計算質量の括弧内は、ねじ込形のものを示す。

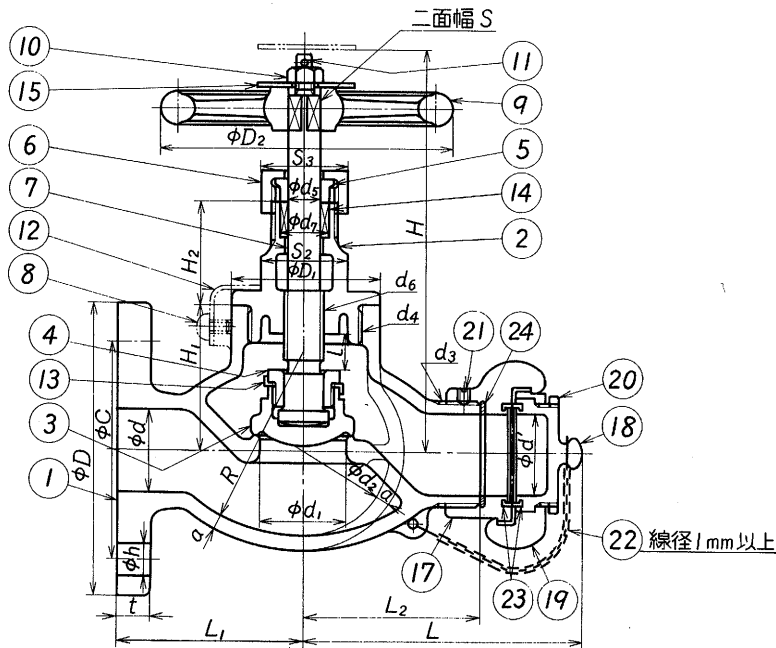
付図2 (続き)

部品番号	部品名称	材料
1	弁箱	JIS H 5111のBC6
2	ふた	JIS H 5111のBC6又は
3	弁体	JIS H 3250のC3771BD若しくはC3771BE
4	弁押さえ	JIS H 5111のBC6又は
5	パッキン押さえ	JIS H 3250のC3771BD若しくはC3604BD
6	パッキン押さえナット	
7	弁棒	JIS H 3250のC3771BD又はC3771BE
8	十字穴付きなべ小ねじ	JIS H 3260のC2700W
9	ハンドル車	JIS G 5501のFC200
10	六角ナット	JIS H 3250のC3604BD
11	割りピン	JIS H 3260のC2600W
12	ふた回り止め	JIS H 3100のC2600P
13	弁付き回り止め	
14	パッキン	JIS F 7102の規定による。
15	文字板	JIS H 3100のC2801P
16	パッキン受輪	JIS H 3250のC3771BD又はC3771BE
17	キャップ	JIS F 7335の規定による。
18	鎖	
21	弁箱	JIS H 5111のBC6

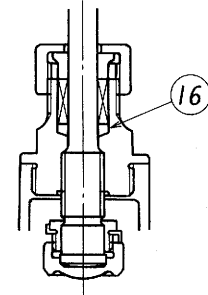
備考 部品名称で太字のものの材料は、5.(1)に規定する材料を示す。

付図3

呼び径40の玉形弁のもの



ふたに別体のパッキン
受輪を入れるもの



入口フランジのボルト穴は、弁箱の中心線振分けとする。

単位 mm

呼び径	呼び圧力	フランジ											全開高さ(約)	リフト	ハンドル車	弁箱						ふた			弁体			六角二面幅	参考計算質量		
		ボルト穴		ボルトの呼び		ねじの呼び	ねじの呼び	ねじの呼び	ねじの呼び	パッキン箱	六角二面幅	参考計算質量																			
		中心円の径	数	呼び	呼び											呼び	呼び	呼び	呼び												
40	5	40	40	45	128.5	120	95	4	15	M12	12	190	14	140	82	M52×2	5	82	69	80	80	M58×2	70	53	15	TW20	12	23	41	41	6.26
	10	40	40	45	133.5	140	105	4	19	M16	16	190	14	140	82	M52×2	6	82	69	90	85	M58×2	70	53	15	TW20	12	23	41	41	8.43

備考1. フランジは、JIS B 2240の規定による。

2. d₆部のねじはJIS B 0222, d₃及びd₄部のねじはJIS B 0207の規定による。

3. 文字板は、注文者が要否を指定する。

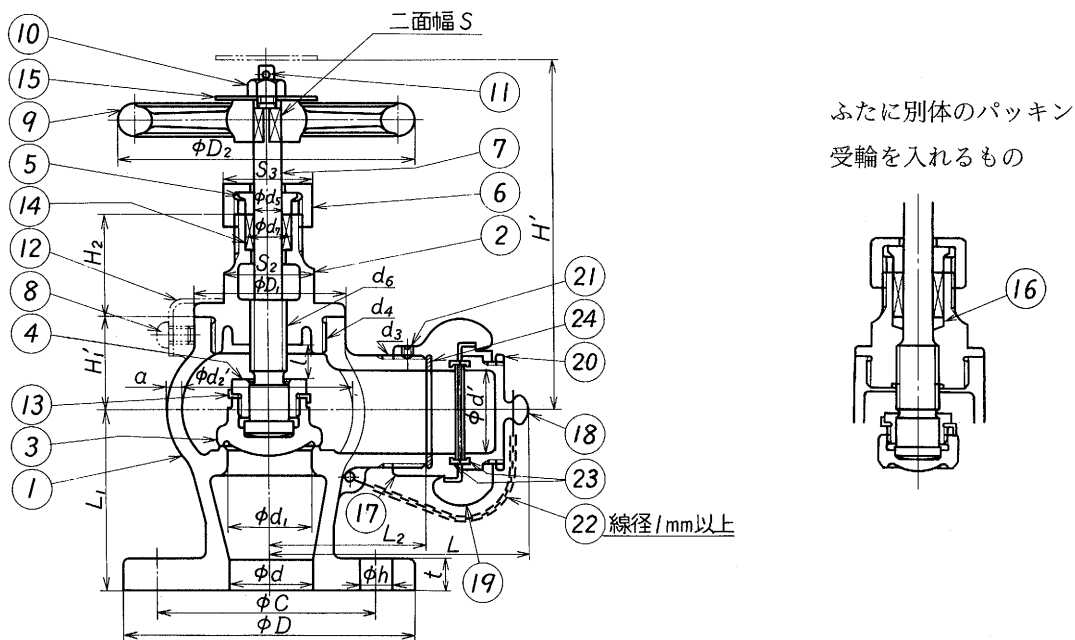
付図3 (続き)

部品番号	部品名称	材料
1	弁箱	JIS H 5111のBC6
2	ふた	JIS H 5111のBC6又は
3	弁体	JIS H 3250のC3771BD若しくはC3771BE
4	弁押さえ	JIS H 5111のBC6又は
5	パッキン押さえ	JIS H 3250のC3771BD若しくはC3604BD
6	パッキン押さえナット	
7	弁棒	JIS H 3250のC3771BD又はC3771BE
8	十字穴付きなべ小ねじ	JIS H 3260のC2700W
9	ハンドル車	JIS G 5501のFC200
10	六角ナット	JIS H 3250のC3604BD
11	割りピン	JIS H 3260のC2600W
12	ふた回り止め	JIS H 3100のC2600P
13	弁付き回り止め	
14	パッキン	JIS F 7102の規定による。
15	文字板	JIS H 3100のC2801P
16	パッキン受輪	JIS H 3250のC3771BD又はC3771BE
17	元継手	JIS F 7335の規定による。
18	キャップ	
19	締め輪	
20	止め輪	
21	止め小ねじ	
22	鎖	
23	ガスケット	
24	ガスケット	

備考 部品名称で太字のものの材料は、5.(1)に規定する材料を示す。

付図4

呼び径40のアンクル弁のもの



入口フランジのボルト穴は、弁箱の中心線振分けとする。

単位 mm

呼び径	呼び圧力	フランジ										全開高さ(約)	リフト	ハンドル車	弁箱					ふた			弁体			パッキン箱	六角二面幅	参考計算質量 (kg)		
		ボルト穴		ボルトのねじの呼び		D	C	数	h	φd ₁	φd ₂				φd ₃	φd ₄	φd ₅	φd ₆	ねじの呼び	ねじの呼び	ねじの呼び	ねじの呼び	ねじの呼び							
		中心円の径	φC	φC	φC																			φC	φC				φC	φC
40	5	40	40	45	123.5	120	95	4	15	M12	12	165	14	140	78	M52×2	5	44	85	75	M58×2	70	53	15	TW20	12	23	41	41	5.91
	10	40	40	45	123.5	140	105	4	19	M16	16	165	14	140	78	M52×2	6	44	100	75	M58×2	70	53	15	TW20	12	23	41	41	8.19

備考1. フランジは、JIS B 2240の規定による。

2. d₆部のねじはJIS B 0222, d₃及びd₄部のねじはJIS B 0207の規定による。

3. 文字板は、注文者が要否を指定する。

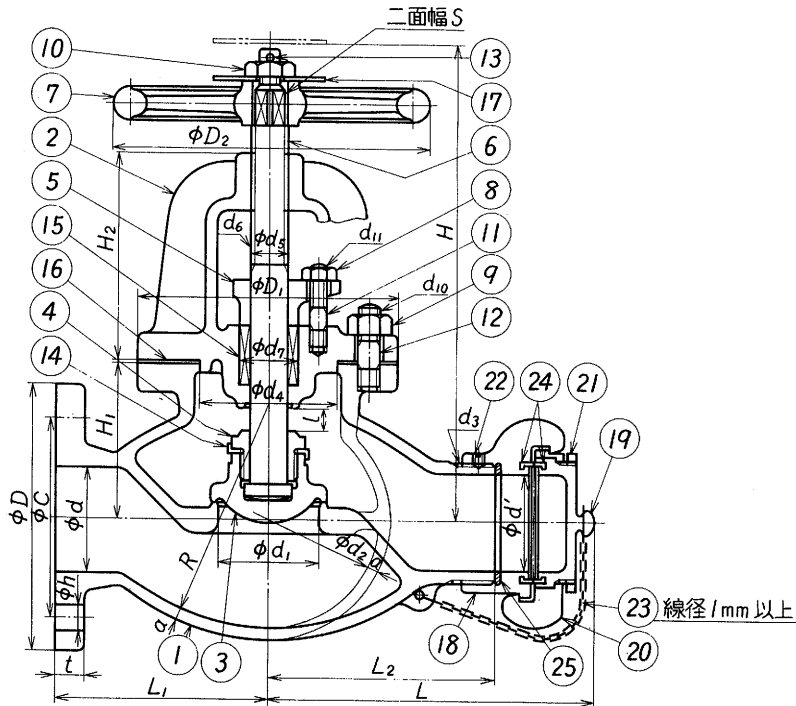
付図4 (続き)

部品番号	部品名称	材料
1	弁箱	JIS H 5111のBC6
2	ふた	JIS H 5111のBC6又は
3	弁体	JIS H 3250のC3771BD若しくはC3771BE
4	弁押さえ	JIS H 5111のBC6又は
5	パッキン押さえ	JIS H 3250のC3771BD若しくはC3604BD
6	パッキン押さえナット	
7	弁棒	JIS H 3250のC3771BD又はC3771BE
8	十字穴付きなべ小ねじ	JIS H 3260のC2700W
9	ハンドル車	JIS G 5501のFC200
10	六角ナット	JIS H 3250のC3604BD
11	割りピン	JIS H 3260のC2600W
12	ふた回り止め	JIS H 3100のC2600P
13	弁付き回り止め	
14	パッキン	JIS F 7102の規定による。
15	文字板	JIS H 3100のC2801P
16	パッキン受輪	JIS H 3250のC3771BD又はC3771BE
17	元継手	JIS F 7335の規定による。
18	キャップ	
19	締め輪	
20	止め輪	
21	止め小ねじ	
22	鎖	
23	ガスケット	
24	ガスケット	

備考 部品名称で太字のものの材料は、5.(1)に規定する材料を示す。

付図5

呼び径50及び65の玉形弁のもの



入口フランジのボルト穴は、弁箱の中心線振分けとする。

単位 mm

呼び径	呼び圧力	フランジ											全開高さ(約)	リフト	ハンドル車	弁箱											ふたの高さ	弁棒		パッキン箱	ボルトの呼び		参考計算質量 (kg)			
		K	d	d'	d ₁	L	D	ボルト穴		ボルトの呼び	t	H				l	D ₂	d ₂	d ₃	a	R	H ₁	L ₁	L ₂	D ₁	d ₄		H ₂	d ₅		d ₆	S		d ₇	d ₁₀	d ₁₁
								中心円の径C	数																											
50		50	50	55	159.8	130	105	4	15	M12	14	255	17	160	105	M64×2	6	105	80	105	105	125	68	122	20	TW20	14	32	M12	M12	12.9					
		10	50	50	55	164.8	155	120	4	19	M16	16	270	17	160	105	M64×2	7	105	85	110	110	140	68	132	22	TW22	14	36	M16	M12	15.4				
65		10	65	65	75	199.8	175	140	4	19	M16	18	295	21	200	140	M80×2	8	140	100	135	140	165	90	132	24	TW24	17	38	M16	M12	27.8				

備考1. フランジは、JIS B 2240の規定による。

2. d₆部のねじはJIS B 0222, d₁₀及びd₁₁部のねじはJIS B 0205, d₃部のねじはJIS B 0207の規定による。

3. 文字板は、注文者が要否を指定する。

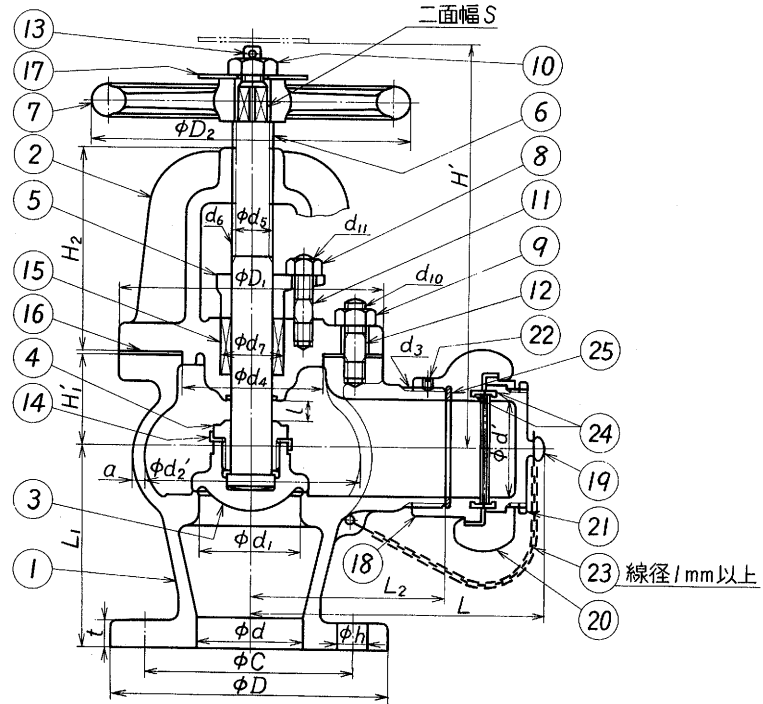
付図5 (続き)

部品番号	部品名称	材料
1	弁箱	JIS H 5111のBC6
2	ふた	
3	弁体	
4	弁押さえ	JIS H 5111のBC6又は JIS H 3250のC3771BD
5	パッキン押さえ	
6	弁棒	JIS H 3250のC3771BD又はC3771BE
7	ハンドル車	JIS G 5501のFC200
8	六角ナット	JIS H 3250のC3604BD
9	六角ナット	
10	六角ナット	
11	植込みボルト	JIS H 3250のC3771BD
12	植込みボルト	
13	割りピン	JIS H 3260のC2600W
14	弁付き回り止め	JIS H 3100のC2600P
15	パッキン	JIS F 7102の規定による。
16	ガスケット	
17	文字板	JIS H 3100のC2801P
18	元継手	JIS F 7335の規定による。
19	キャップ	
20	締め輪	
21	止め輪	
22	止め小ねじ	
23	鎖	
24	ガスケット	
25	ガスケット	

備考 部品名称で太字のものの材料は、5.(1)に規定する材料を示す。

付図6

呼び径50及び65のアングル弁のもの



入口フランジのボルト穴は、弁箱の中心線振分けとする。

単位 mm

呼び径	呼び圧力	フランジ											弁箱											ふたの高さ	弁棒		パッキン箱	ボルトのねじの呼び		参考計算質量 (kg)
		K	d	d'	d ₁	L	D	ボルト穴		ボルトのねじの呼び	全開高さ(約)	リフト	ハンドル車	ねじの呼び	a	H ₁ '	L ₁	L ₂	D ₁	d ₄	H ₂	d ₅	d ₆		S	d ₇		d ₁₀	d ₁₁	
								中心円の径C	数																					
50	5	50	50	55	154.8	130	105	4	15	M12	14	225	17	160	105	M64×2	6	50	100	100	125	68	122	20	TW20	14	32	M12	M12	11.0
	10	50	50	55	159.8	155	120	4	19	M16	16	240	17	160	105	M64×2	7	55	120	105	138	68	132	22	TW22	14	36	M16	M12	14.3
65	10	65	65	75	179.8	175	140	4	19	M16	18	255	21	200	135	M80×2	8	60	130	120	165	90	132	24	TW24	17	38	M16	M12	23.0

備考1. フランジは、JIS B 2240の規定による。

2. d₆部のねじはJIS B 0222, d₁₀及びd₁₁部のねじはJIS B 0205, d₃部のねじはJIS B 0207の規定による。

3. 文字板は、注文者が要否を指定する。

付図6 (続き)

部品番号	部品名称	材料
1	弁箱	JIS H 5111のBC6
2	ふた	
3	弁体	
4	弁押さえ	JIS H 5111のBC6又は JIS H 3250のC3771BD
5	パッキン押さえ	
6	弁棒	JIS H 3250のC3771BD又はC3771BE
7	ハンドル車	JIS G 5501のFC200
8	六角ナット	JIS H 3250のC3604BD
9	六角ナット	
10	六角ナット	
11	植込みボルト	JIS H 3250のC3771BD
12	植込みボルト	
13	割りピン	JIS H 3260のC2600W
14	弁付き回り止め	JIS H 3100のC2600P
15	パッキン	JIS F 7102の規定による。
16	ガスケット	
17	文字板	JIS H 3100のC2801P
18	元継手	JIS F 7335の規定による。
19	キャップ	
20	締め輪	
21	止め輪	
22	止め小ねじ	
23	鎖	
24	ガスケット	
25	ガスケット	

備考 部品名称で太字のものの材料は、5.(1)に規定する材料を示す。

白 紙

JIS F 7334-1996

船用青銅ホース弁解説

この規格は、本体に規定した事柄、参考に記載した事柄、及びこれらに関連した事柄を説明するもので、規格の一部ではない。

1. 制定の目的 消防用、甲板洗浄用などの帆布ホース弁には、普通の鑄鉄弁にホース元金物をフランジで接続してホース弁とする方法も用いられるが、取付け場所によって青銅弁を必要とする場合が多いので、ホース継手と弁を一体形にしたものを、機器掃除用などの蒸気・空気用青銅弁と共に、規格化することの要望があつて、性能確実で経済性をもち、広範囲のメーカーが製造できる規格を目的として作られた。

2. 経過

(1) 制定の経過

(1.1) 原案作成機関名：社団法人日本船舶工業標準協会

(1.2) 原案作成担当会社名：佐世保船舶工業株式会社，三菱重工業株式会社長崎造船所

(1.3) 制定年月日：昭和30年3月18日

(2) 改正の経過

(2.1) 1958年改正要旨

(2.1.1) 弁箱肉厚の許容差を設定した。

(2.1.2) 付図1～6のL及びH寸法を修正した。

(2.1.3) 弁棒の材料はBsBFだけであつたが、SUS2とすることもできるようにした(後記3.2参照)。

(2.1.4) 割りピン，弁付回り止め，ふた回り止めなどの材料記号を改めた。

(2.1.5) パッキン材料は，JIS F 7102(船舶機関部管系用ガスケット及びパッキン使用基準)によることに改めた。

(2.2) 1960年改正要旨 計量法の改正によるメートル法の完全実施に伴い，ねじ部品のインチ単位を改正した。

(2.3) 1961年改正要旨

(2.3.1) 鑄鉄製ホース弁の規格が制定される予定になつたので，従来の規格名称“船用ホース弁”を“船用青銅ホース弁”に改めた。

(2.3.2) 呼び圧力5 K及び10 Kで呼び径25 mmの玉形弁及びアングル弁を追加した。

(2.3.3) ハンドル車の材料FC15をFC20に改め，文字板にBsP3-Hを追加した。

(2.3.4) 呼び径40以下の弁の丸小ねじBsBFを十字穴付丸小ねじBsW2Sに改め，ふた回り止めを注文者の指定によりSUS21CPとすることもできるようにした(後記3.2参照)。

(2.3.5) 検査は，JIS F 7400(船用弁及びコックの検査通則)によって行うことに改めた。

(2.4) 1967年改正要旨 弁押さえ及びパッキン押さえの材料は，BsBF2とすることもできるようにした。

(2.5) 1968年改正要旨

(2.5.1) メートルねじ採用によって，ねじをJIS B 0205(メートル並目ねじ)及びJIS B 0207(メートル細目ねじ)に従つて改めた。

(2.5.2) 青銅のBC2をBC6に改めた。

(2.6) 1975年改正要旨

F 7334-1996 解説

(2.6.1) 呼び径15~40のものについて、JIS F 7301(船用青銅5 kgf/cm²玉形弁)~JIS F 7304(船用青銅16 kgf/cm²アングル弁)の改正に倣い、次の改正を行った。

- (a) 弁体の羽根足を除去し、弁座をフラットにした。
- (b) 弁箱とふた結合部のガスケットを廃止し、メタルタッチとした。
- (c) パッキン箱の深さを増した。
- (d) 呼び径15の弁棒を太くした。

(2.6.2) 呼び圧力10 K, 呼び径15のねじ込形のを追加した。

(2.6.3) 呼び径50及び65のものについて、弁体の羽根足を除去し、弁座の形状を呼び径40以下のものに合わせた。

(2.7) 1981年改正要旨 伸銅品JISの改正に伴う改正を行った。

また、規格票の様式及び字句の訂正を行った。

(2.8) 1987年改正要旨 材料の一部を追加並びに訂正した。

また、呼び径40以下の弁はふたをC3771から削り出してもよいことにし、ふた外形寸法の表示部を改正した。

(2.9) 1995年改正要旨 呼び径15~40について、ふたの材料が黄銅製の場合は、ふたのパッキン箱下部に別体のパッキン受輪をはめ込む構造にしていたものを、加工方法の選択の自由度を広げコスト軽減を図るため、使用材料による構造の制限を改めた。

すなわち、黄銅製のふたに別体のパッキン受輪を備えず、青銅製ふたの場合と同様の構造にしてもよいことにした。

(2.10) 1996年(今回)改正要旨 SI単位の導入(第3段階)によって、{ }内の従来単位及び数値を削除した。

また、SI化に合わせた規格値の調整を行い、これによって規格値が従来単位の換算値より2 %程度増加した。呼び圧力は、利用者の誤認を防ぐため従来単位(kgf/cm²)と親和性をもたせ、最高使用圧力(MPa)の10倍の値に文字“K”を付けた表記とした。

改正の第1~3回は社団法人日本船舶工業標準協会、第4回及び第5回は社団法人日本造船研究協会、第6回以降は財団法人日本船舶標準協会が担当した。

3. 規格の概要及び要旨 この規格は、船の機器掃除用などの蒸気・空気に使用するメタルホース及びゴムホース用ホース弁及び消防・甲板洗浄などに使用する帆布ホース用ホース弁について規定したものである。

3.1 構造 このホース弁は、元継手を弁箱にねじ込んで、弁との一体形に近い構造としたものである。ホース継手部を弁箱と一体の鋳造品とする方法もあるが、ホース継手部は構造が複雑なので、弁箱と一体のものとした場合の工作の都合を考慮し、別途に作って弁箱にねじ込むようにした。ただし、呼び径15及び25 mmのものは、ホース継手としてユニオン形を使っているので、ユニオン接続ねじ部は弁箱と一体構造である。

配管との接続は従来フランジ結合のものだけであったが、1975年の改正で、呼び圧力10 K・呼び径15のねじ込形のを追加した。

(1) **15, 25及び40ホース弁** 弁の寸法は、弁箱の出口側フランジをねじに変えたほかは弁の各部にわたり、5 K用はJIS F 7301・JIS F 7302(船用青銅5 K玉形弁及びアングル弁)、10 K用はJIS F 7303・JIS F 7304(船用青銅16 K玉形弁及びアングル弁)と同一のものとした。

1975年の改正ではこれらの弁の改正に伴って同様の改正を行った。

また、追加された呼び径15のねじ込形のものは、配管結合フランジをねじ込形にしたほかは上記の弁と同様である。

1987年の改正ではその後のJIS F 7301~F 7304の改正に伴い、ふたの形状を追加した。

- (2) **50ホース弁** 弁箱の主要寸法は、5 K用は、**JIS F 7305・JIS F 7306**(船用鑄鉄5 K玉形弁及びアングル弁)、10 K用は**JIS F 7307・JIS F 7308**(船用鑄鉄10 K玉形弁及びアングル弁)に準じた。弁体は**JIS F 7305・JIS F 7306**及び**JIS F 7307・JIS F 7308**と同一のものとしていたが、1975年の改正で羽根足を除去し、弁座の形状を呼び径40以下のものに合わせた。
- (3) **65ホース弁** 弁箱の主要寸法は、**JIS F 7307・JIS F 7308**に準じた。弁体は**JIS F 7307・JIS F 7308**と同一のものにしていたが、1975年の改正で羽根足を除去し、弁座の形状を呼び径40以下のものに合わせた。
- (4) **15ホース弁のホース継手部** ホース継手部は、**JIS F 7335**(船用ホース金物)の15ホース金物の継手部と同一とし、キャップを設けた。
- (5) **25ホース弁のホース継手部** ホース継手部は、**JIS F 7335**の25ホース金物の継手部と同一とし、キャップを設けた。
- (6) **40、50及び65ホース弁のホース元継手** ホース元継手は、**JIS F 7335**の40～65ホース金物の元継手、キャップなど同一のものとした。
- (7) ホース継手のキャップは、失うことのないように、いずれも強固な鎖で弁箱に止めるようにした。

3.2 材料 主要部の材料は、原則として次のとおりとした。1981年の改正で弁箱及びホース元継手はBC6、ふた及び弁体はBC6又はBsBFD2若しくはBsBFE2、弁棒はBsBFD2又はBsBFE2とした。

なお、弁箱ふた取付用及びパッキン押さえ用のボルト及びナットは、弁の取付場所による体裁を考慮してBsBFD2又はBsBFE2としたが、1987年の改正ではナットの材料をC3604BDに統一し、呼び径40以下のふたがBC6であったが、C3771で削り出してもよいことにした。

従来、弁棒はBsBFとし、注文者の指定があればSUS 50 Bにしてもよいことになっていたが、1975年の改正で注文及び生産を単一化する見地からSUS50Bを削除した。

また、1975年の改正で、規定材料以外でも2種類の材料を挙げていた呼び径40以下のふた回り止めはSUS27CPを、弁付回り止めはCuP2-0を廃止し、共にBsP1-0だけとした。

3.3 検査 検査については、それぞれ準拠した青銅弁又は鑄鉄弁に準じて決めた。弁箱水圧検査については船級規則を満足する呼び圧力の2倍とされていたが、1981年の改正で準拠した規格どおりとした。

元継手の水圧検査は、**JIS F 7335**と同じ圧力とした。

1987年の改正は、試験圧力を最高使用圧力を基にした**ISO 5208**(Industrial valves—Pressure testing of valves)の規定に合わせた。

4. 原案担当作業委員会の構成(1995年改正時)

	氏名	所属
(委員長)	猪野義隆	日立造船株式会社船舶・防衛事業本部
(委員)	魚谷明彦	財団法人日本海事協会機関部
	伊飼通明	運輸省船舶技術研究所大阪支所
	田中芳憲	石川島播磨重工業株式会社船舶海洋事業本部愛知工場
	若林邦夫	川崎重工業株式会社船舶事業本部
	西山裕之	日立造船株式会社有明工場
	阿久津幸雄	三井造船株式会社船舶・艦艇事業部
	林洋一郎	三菱重工業株式会社下関造船所
	柴田菊夫	NKK総合エンジニアリング事業部船舶・海洋本部
	三井俊毅	尾道造船株式会社設計部
	篠原健	株式会社赤萩フランチ製作所
	川上隆男	神陽金属工業株式会社
	大塚元治郎	株式会社内山製作所
	末永隆夫	岡野バルブ製造株式会社
	万木義則	巴バルブ株式会社
	町野孝義	株式会社中北製作所
	田郷幸雄	日の本辨工業株式会社
	三輪英雄	三元バルブ製造株式会社
	河野光造	大宮精機株式会社
	伊藤正八	株式会社鷹取製作所
	杉本恵則	水野ストレーナ工業株式会社
	西田郁	大阪バルブ株式会社
(事務局)	小郷一郎	財団法人日本船舶標準協会

JIS 規格票の正誤票が発行された場合は、下記の要領でご案内いたします。

- (1) 当協会発行の月刊誌「標準化ジャーナル」に、正・誤の内容を掲載いたします。
 - (2) 毎月第3火曜日に、「日経産業新聞」及び「日刊工業新聞」の JIS 発行の広告欄で、正誤票が発行された JIS 規格番号及び規格名称をお知らせいたします。
- 発行された正誤票をご希望の方は、下記(営業)へご連絡頂ければご送付いたします。
なお、当協会の JIS 予約者の方には、予約された部門で発行された正誤票は自動的に送付されます。

日本工業規格

船用青銅ホース弁

定価 824 円
(本体 800 円)

平成 8 年 12 月 31 日 第 1 刷発行

編集兼
発行人 福原元一

発行所

財団法人 日本規格協会

〒107 東京都港区赤坂 4 丁目 1-24

電話 東京(03)3583-8071 (規格出版)

FAX 東京(03)3582-3372

電話 東京(03)3583-8002 (営業)

FAX 東京(03)3583-0462

振替口座 00160-2-195146

札幌支部 〒060 札幌市中央区北 3 条西 3 丁目 1 札幌大同生命ビル内
電話 札幌(011)261-0045 FAX 札幌(011)221-4020
振替: 02760-7-4351

東北支部 〒980 仙台市青葉区本町 3 丁目 5-22 宮城県管工事会館内
電話 仙台(022)227-8336(代表) FAX 仙台(022)266-0905
振替: 02200-4-8166

名古屋支部 〒460 名古屋市中区栄 2 丁目 6-12 白川ビル内
電話 名古屋(052)221-8316(代表) FAX 名古屋(052)203-4806
振替: 00800-2-23283

関西支部 〒541 大阪市中央区本町 3 丁目 4-10 本町野村ビル内
電話 大阪(06)261-8086(代表) FAX 大阪(06)261-9114
振替: 00910-2-2636

広島支部 〒730 広島市中区基町 5-44 広島商工会議所ビル内
電話 広島(082)221-7023, 7035, 7036 FAX 広島(082)223-7568
振替: 01340-9-9479

四国支部 〒760 高松市寿町 2 丁目 2-10 住友生命高松寿町ビル内
電話 高松(0878)21-7851 FAX 高松(0878)21-3261
振替: 01680-2-3359

福岡支部 〒810 福岡市中央区渡辺通り 2 丁目 1-82 電気ビル第 3 別館内
電話 福岡(092)761-4226 FAX 福岡(092)761-7466
振替: 01790-5-21632

三美印刷(株) 印刷・製本 Printed in Japan

JAPANESE INDUSTRIAL STANDARD

Shipbuilding—Bronze hose valves

 JIS F 7334-1996

Revised 1996-11-08

Investigated by

Japanese Industrial Standards Committee

Published by

Japanese Standards Association

1-24, Akasaka 4-chome, Minato-ku

Tokyo, 107 JAPAN

Printed in Japan

定価 824 円(本体 800 円)